

FUKUUCHI

Public Relations

No.200
August

広報ふくち



特集 広報紙発刊200号記念

2022

8

感謝

ありがとう、広報ふくち発刊200号

今と未来を伝え続けて



「広報ふくち」は今月号で200号を迎えました。読者の皆さまへ感謝の気持ちを込めて、記念特集をお届けします。そしてこれからも伝え続けていきます。



↑2018年8月号で福智町として初の避難勧告、避難指示が発令された「平成30年7月豪雨」を特集。



→2017年11月号でスポーツで輝く福智町のアスリートたちを特集。



→2020年5月号で新型コロナウイルスに伴う町の変化や感染対策を特集。

2006年3月6日に旧3町（赤池町、方城町、金田町）が合併し、誕生した福智町。広報ふくちは、2006年4月号から始まり、皆さまの暮らしとともに歩み続けて16年、本号で200号を迎えました。行政からのお知らせはもちろん、地域の話題やニュース、住民の笑顔を詰めこんできました。これからも決して行政からの一方通行にせず、町の主役である住民の皆さまの笑顔や頑張っている姿、率直な意見を特集やまちの話題などで紹介することを心がけていきます。広報ふくちは皆さまとともに歩み続けたいと思っています。



「広報紙らしくない広報紙 白紙に息を吹き込む」

力を入れる「特集」や「写真」 広報ふくちが目指すもの

広報紙の作成は、他の部署と違って法律などの決まり事がない世界。いわば、正解がありません。だからこそ、住民に必要とされる、読みたくなる広報紙作りとはどのようなものかを手探りで探す必要があります。そこで広報ふくちが特に力を入れてお届けしているのが「特集」です。特集では、小さなことでも住民の皆さまの何かのきっかけづくりとなるようなテーマを決め、深く掘り下げることで、知ってもらいたいことや考えてもらいたい

たいことがより伝わりやすくなるかと考えています。加えて、読者目線の伝わる文章や引きつけるレイアウトなど意識して紙面を作り上げるようにしています。また、「写真」も力を入れていく。一枚の効果的な写真は、千文字の言葉より伝わる場合があります。表紙や裏表紙といった紙面の顔となる部分は特に意識して撮影に挑んでいます。これからも手に取って読んでもらうこと、そのための工夫は欠かせません。いい意味で、「広報紙らしくない広報紙」を目指して、これからも真っ白な紙面に息を吹き込みたいと思っています。

広報ふくちの変遷

- 2006年4月
広報ふくち創刊号を発行
- 2006年10月、12月、2007年2月1日号に加えて、15日号を発行(3回)
- 2007年
県の広報コンクールで特選、全国広報コンクールで入選を受賞
一枚写真の部(2006年11月号)
※2022年現在、県代表19回、全国入選14回)
- 2008年6月
紙面を大幅リニューアル
(ふくちインフォメーションや四季の歌、ふくたまなど現在のレイアウトへ)
- 2014年4月
広報ふくち100号を発行
- 2016年10月
機構改革が行われ、広報・広聴係が総務課からまちづくり総合政策課へ
- 2022年8月
広報ふくち200号を発行

▼2013年12月号入選1席
広報紙の部
特集「岐路を駆ける鉄路」

▼2011年12月号入選1席
広報紙の部
特集「笑顔でしわを増やそう」

▼2010年12月号入選
広報紙の部
特集「未来へのまなざし」

▼2009年12月号入選3席
広報紙の部(読売新聞社賞)
特集「招店街」

▼2008年12月号入選3席
広報紙の部
特集「上野JAPAN」

▼2006年11月号入選
一枚写真の部(P16・17)
「福智の祭り、ここにあり」

2001年の全国広報コンクール
「日本広報協会主催」で「広報あかいけ」が3席に入選して以来、「広報ふくち」でも高い評価を得ています。ここでは、全国広報コンクールで入選を獲得した作品を一挙大公開します。

→旧赤池町の「広報あかいけ」が2度の最高賞(内閣総理大臣賞)受賞

広報ふくち節目号

創刊号

2006年4月3日発行
町名の由来になった「福智山」を紹介した創刊号。特集「嗚呼、福智山。」
▶当時人口＝26,378人



50号

2010年2月1日発行
口語自由詩の礎を築いた赤池出身・加藤介春を紹介。特集「詩人加藤介春」
▶当時人口＝25,440人



100号

2014年4月1日発行
広報ふくちの裏側などを紹介した100号記念号。特集「ふくちの実り」
▶当時人口＝24,395人



150号

2018年6月1日発行
生活に欠かせない水が家庭に届くまでの道のりを紹介。特集「水をたどる」
▶当時人口＝23,091人



「愛される広報紙を皆さまと一緒に作っていききたい」

住民が「主役」の広報紙 「感謝」を込めこれからも

広報ふくちには、毎号多くの住民の皆さまに登場していただいています。広報紙は住民の皆さまの活躍やまちの魅力があつてこそ、福智町を好きになってくれる人を増やすため、「主役」である住民の皆さまを照らす「関係」になれるよう励みます。広報担当者がネタを拾っていくことがありますが、住民の皆さまから寄せられるネタも多くあり、非常にうれしく思います。取材させていただいた方や読者からの感謝の声やお手紙も、大



広報ふくち編集担当者

きな励みになっています。多くの方々の支えのおかげで今回200号を迎えることができました。毎号、感謝の気持ちを込めながら、人や地域が輝き、愛される広報紙を、皆さまと一緒に作っていききたいと思つています。また、住民にとって「広報ふくち」がまちの自慢の一つになれるよう、精進していきます。

● ふくち
インフォメーション



【ふくちインフォメーション】主に、福智町役場からのお知らせやニュース、町内で行われるイベントなどを紹介。4色カラーで画像を多く使うなど見やすく、伝わるようにレイアウトを心がけています。

● 情報ひろば



【情報ひろば】「募集」「イベント」「相談」「子育て支援センターからのお知らせ」「粗大ごみの回収日」など暮らしに役立つ情報が満載のコーナー。(例) 心配ごと相談、法律相談、採用試験、職業訓練生募集など

● ズームインふくち
● ふくち玉手箱



【ズームインふくち】地域で行われたイベントやスポーツ等の結果など町の話を紹介。【ふくち玉手箱】発行月に誕生日を迎える1歳～3歳までのお子さまを紹介。前月の1日～10日頃まで掲載するお子さまを募集。その他に町の話を紹介。

表紙や裏表紙、特集以外のコーナーを大解剖

広報ふくちの
主要ページ
あれこれ



● 保健師だより
● 保健の掲示板



【保健師だより】健康子育て支援課の担当者がタイムリーなテーマを1つ取り上げ、予防や注意喚起を行うページ。【保健の掲示板】健診や健康相談の日程などをお知らせ。【その他】人口の増減や税の納期限、近隣の催しなど

● 四季の歌
● あったばい福智
● ふくちのち便利



【四季の歌】町内で活動する4つの句会の会員が詠んだ俳句を紹介。【あったばい福智】福智町に関係のある文化財や偉人などを紹介。【ふくちのち便利】「図書館・歴史資料館ふくちのち」のイベントや新着本などをお知らせ。



「今を生き抜く」

▼ 2021年12月号(P10-11) 入選一枚写真の部(読売新聞社賞)



特集「今を生き抜く」

▼ 2021年12月号入選 広報紙の部



「届かない夢はない」

▼ 2020年12月号(表紙)入選 一枚写真の部



特集「その先へ」

▼ 2020年12月号入選 広報紙の部



特集「逆転」

▼ 2019年12月号入選 広報紙の部



特集「命をつなぐ」

▼ 2017年12月号入選2席 広報紙の部(読売新聞社賞)



ふるさと納税返礼品カタログ 「まごころ通心」

▼ 2016年入選 広報企画の部



特集「だけじゃない」

▼ 2015年12月号入選 広報紙の部